

水土里ネットの和

発行：水土里ネット和歌山（和歌山県土連） 和歌山市雑賀屋町 1 番地

会長：二階俊博 TEL：073-432-2567 FAX：073-433-1490



国営総合農地防災事業 和歌山平野地区 千旦樋門

主な内容 (CONTENTS)

○新年度のご挨拶 (中山副会長)	2
○ご挨拶 (農林水産部長)	3
○第 6 4 回和歌山県土地改良事業団体連合会の通常総会	4
○全国土地改良事業功績者表彰について	5
○令和 3 年度第 3 回監事会及び理事会の開催について	6
○水土里ネット女性の会 交流研修会	6
○令和 3 年度補正、令和 4 年度当初予算について	7
○水土里ネット和歌山からのお知らせ	12



新年度にあたって

水土里ネット和歌山

和歌山県土地改良事業団体連合会

副会長 中山 正 隆

令和4年の新年度を迎え、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年度は、当会理事の寺本光嘉町長並びに中村慎司市長の突然の訃報があり、会員一同、大きなショックを受けたところです。お二人とも市町村合併後の平成18年から、長きにわたって地方行政を支え、県勢の発展に大きく寄与されると共に、当連合会の役員として土地改良の推進に大変尽力を戴きました。

平成21年に民主党政権となり、土地改良予算が大きく削られる中で、予算復活を目指し、二階会長を支え和歌山県の土地改良を支えた功労者であります。特に、中村副会長におかれては、5期目の当選を果たした後の急逝であったことから、新型コロナの収束を視野に入れた新たな取り組み課題は沢山あり、非常に残念であったと思います。当連合会におきましても、お二方の思いを引き継ぎ、二階会長を支え和歌山の土地改良の推進に邁進して参りたいと思います。

3月の第64回和歌山県土地改良事業団体連合会の通常総会は、二階会長の出席を戴き、昨年同様、出席人数を最小限にした総会となりましたが、終了後には懇親会も行われ、新たな決意で取り組むことも確認されました。

今年7月には、第26回参議院議員選挙が予定されております。選挙区では当会理事の鶴保議員が、全国比例では水土里ネット会長会議顧問の進藤議員が挑戦すると伺っております。

会員の皆様におかれましても、お二人を支え、引き続き国政において活躍できますようご支援戴きたいと存じます。

さて、土地改良に関しましては二階会長の強力なご尽力で、令和4年度は補正を併せると6,285億円と十分な予算が確保されております。特に、国土強靱化対策として、ため池対策は喫緊の課題となっております。

当会では、県が設置したため池サポートセンター業務の受託や各会員からのため池整備計画策定、劣化、豪雨耐性評価等の調査業務の受託により、ため池対策の推進に協力して参る所存です。

会員の皆さまにおかれましては、このような取り組みをご周知の上、活用いただきますよう宜しくお願いを申し上げます。

新型コロナによる様々な影響が出てから2年以上が経過しますが、未だに収束が見えません。農業は、国を支える重要な産業であります。本県農業の安定的な持続のため、土地改良施設を適正に維持管理していくことは重要な使命です。

農業、土地改良施設を支える会員の皆様方におかれましては、土地改良を取り巻く状況をより良いものにするため、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年度に当たってのご挨拶と致します。

ご挨拶



和歌山県農林水産部部長
山本佳之

令和4年4月1日の人事異動により、和歌山県農林水産部部長を拝命しました山本佳之です。

平素は、土地改良区や市町村の関係者の皆様方のご尽力により土地改良事業が推進されていること、また、本県の農業農村整備事業の実施につき、多大なるご支援・ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

本県では、長期総合計画において農業の振興策として、国内外に向けた販路開拓・販売促進、安全・安心で機能性を備えた農畜産物の安定供給、生産性の向上、農業経営の安定化、他分野との連携による農業の多面的な発展の5つの政策を掲げ推進しているところです。

その中で、土地改良事業関係においては、中山間地域における小規模な圃場整備や農業水利施設の長寿命化対策として、ほ場や農道、水路などの整備を実施するとともに、営農の省力化、低コスト化や担い手への農地の集積・集約にも積極的に取り組んでいます。

また、ため池の防災・減災対策としては、近年のゲリラ豪雨や近い将来起こるとされている東南海・南海地震などへの備えとして、緊急放流工の設置や余水吐の改修により池の安全度向上に取り組んでいる他、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」や「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の施行に基づき、ため池の所有者等や行政機関の役割分担を明確化し、ため池の防災工事等を集中的かつ計画的に推進することとしています。

さらに、県では、令和3年6月に和歌山県土地改良事業団体連合会内に「和歌山県ため池サポートセンター」を開設し、農業用ため池の適正な管理並びに防災工事等の効率的な実施に関し必要な支援を行っています。

会員の皆様方には、農産物の安定供給・生産性の向上、さらに豊かな農村環境の維持にかかすことの出来ない土地改良施設の管理に関しまして、引き続きご協力を賜りますとともに益々のご活躍、ご発展をご祈念申し上げて挨拶とさせていただきます。

第64回和歌山県土地改良事業団体連合会通常総会

令和4年3月26日(土)、15時からアバローム紀の国にて、和歌山県土地改良事業団体連合会の第64回通常総会が二階会長出席のもと、開催されました。

今回も昨年同様、新型コロナウイルス対策のため、来賓のご招待を取り止め、会員は委任出席により、最小限の会員参加による総会となりました。

開会に当たり、出席の皆様へ全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員からビデオメッセージを見て戴きました。

和歌山県土地改良事業団体連合会 第64回通常総会



総会では、議長に小田井土地改良区の林理事長が選任され、上程された13議案について、全会一致で会員の承認が得られました。

議案項目は、以下のとおりです。

○提出議案

- 第1号議案 令和2年度事業報告について
- 第2号議案 令和2年度収支決算について
- 第3号議案 令和2年度財産目録について
- 第4号議案 令和3年度会計予算補正について
- 第5号議案 令和4年度事業計画について
- 第6号議案 令和4年度一般会計予算について
- 第7号議案 令和4年度賦課金の徴収について
- 第8号議案 余裕金の預入先及び運用方法について
- 第9号議案 一時借入金の限度並びに借入方法について
- 第10号議案 定款の変更について
- 第11号議案 規約の変更について
- 第12号議案 令和4年度役員報酬について
- 第13号議案 役員補欠選任について

今回の総会では、土地改良法の改正に伴い、定款第4条に規定する当連合会の「事業」に「会員からの委託を受けて行う土地改良事業の工事」の追加や当会の

会計方式（複式簿記）の移行に伴い、特別会計を廃止し一般会計の積立金に統合するための規約の変更並びに役員欠員の補欠選任などが提案されました。

役員補欠選任では、海草支部では、小川紀美野町長が、那賀支部は岸本紀の川市長が新たに役員に選任され、提出議案は全て承認されたところです。



新たに副会長に選任された真砂市長

なお、総会後の第4回理事会において、真砂田辺市長が新たな副会長に選任されました。

総会並びに、理事会終了後、場所を変え、出席の会員による懇親会が開催されました。コロナ禍であり、対策には十分留意して、3年ぶりの懇親会を楽しめました。

全国土地改良事業功績者表彰

第64回和歌山県土地改良事業団体連合会通常総会に先立ち、3月に全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞された有田川土地改良区の星田泰弘理事長と新六箇井土地改良区の赤井富士雄事務局長への表彰授与式を行いました。授与は、二階俊博会長から行われました。



二階会長と受賞者の記念撮影



第3回和歌山県土連 監事会・理事会の開催

令和3年度第3回監事会が、2月16日（水）に和歌山県民文化会館404号会議室において、第3回理事会が2月17日（水）にアバローム紀の国4F会議室にて開催されました。

監事会では、監事全員が出席のもと、理事との契約についてこの会の代表に関する事項について、令和3年度会計収支補正予算の承認について、規約の変更、規程等の設定、変更及び廃止についてが議題として提案され、各監事からご意見をいただきました。

また、理事会では14名の理事のうち7名の出席のもと、県の農業農村整備課井賀課長から令和4年度の土地改良予算の概算要求内容について情報提供いただき、議事では、第64回通常総会提出議案について、令和3年度会計収支補正予算についてなどが審議され、すべて承認いただきました。



水土里ネット和歌山女性の会 交流研修会

令和4年2月7日（月）に御坊市湯川町の「花ご坊」において、わかやま水土里ネット女性の会の交流研修会が開催されました。交流研修会には、各土地改良区から13名の参加があり、橋中部会長の挨拶の後、全体会議で令和3年度の活動経過報告、役員改選等がありました。役員改選により、紀の川左岸土地改良区の青山利恵さんが新部長に選任されました。

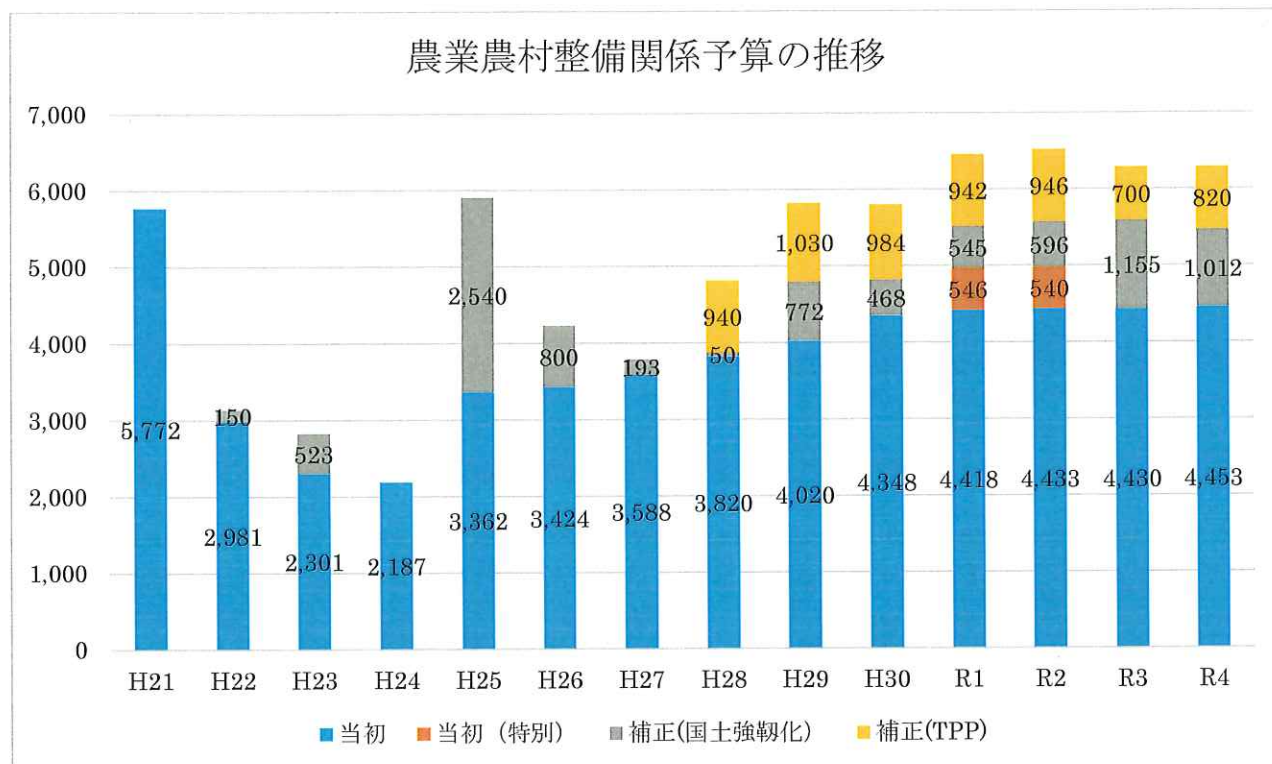
続いて、研修会では、全国土地改良事業団体連合会の室本専務による「土地改良区情勢（女性の活躍等）について」と題して、研修がなされました。

また、政治活動で来県されていた進藤金日子参議院議員が研修会に合流し、国政の情勢報告を行って戴き、参加の皆さんは、熱心に聴講していました。



室本専務、進藤議員との記念撮影

令和3年度補正、令和4年度当初予算の成立



令和4年度政府予算案は、令和4年3月22日に成立しました。

農業農村整備事業関係予算は、当初予算で4,453億円(対前年度比100.5%)
また、防災・減災国土強靱化のための5か年加速化対策、TPP対策及び米の臨時特別対策として令和3年度補正予算において1,832億円を計上し、これらの総額は6,285億円となります。

このほか、政府情報システム予算の農業農村整備事業関係予算が15億円あり、総額は6,300億円となります。

今回、制度改正等も行われ、特に土地改良法の一部改正では、急施の防災事業の対象に農業用排水施設の豪雨対策が追加、農地中間管理機構関連事業の拡充では、事業参加者の費用負担を求めない基盤整備事業の対象に農業用排水施設、暗渠排水等の整備が追加されました。

また、土地改良事業団体連合会業務の見直しがあり、土地改良施設維持管理適正化事業の拡充に伴い、全土連が長期借入金・債券発行により資金を調達し、土地改良区等へ交付できるようになったことや県土連が土地改良区等からの委託を受けて土地改良事業の工事を行うことが出来るようになりました。このことについては、3月の通常総会にて定款変更を行ったところです。

また、解散を予定している土地改良区が一般社団法人又は、認可地縁団体へ組織変更出来る仕組みが創設されたことなど、農家や土地改良区にとって有効な改正となっております。

水土里ネット和歌山からのお知らせ

○4月1日から新しく本連合会に採用された職員を紹介します。



本年3月に県を退職し、水土里ネット和歌山でお世話になることになりました。在職中は、会員の皆様には事業実施や施設管理の推進に大変お世話になり、ありがとうございました。

これまでは、県担当者として取り組んできましたが、4月からは皆様方と同じ立場で土地改良を推進し、少しでも皆様方のお役に立てるようがんばっていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



県から派遣された前事務局長の後任として同じく土地改良事業団体連合会の一員となりました、中西一宏と申します。昨年まで県職員として30年以上土地改良事業に携わって参りましたが、本年度からはさらに会員の皆さまと近い立場で事業に携わることとなりました。これまでの経験を生かしながら、会員の皆さまにと共に喜ぶことを目標として取り組んで参ります。近年の自然状況や社会状況の変化に併せ、迅速な事業推進が必要となるなか、国においても土地改良法の改正が行われるなど、課題の解決のための環境整備が進んでいます。これら近年の見直し事項を理解し、十分活用しながら、会員の皆さまのニーズに応えられるよう努力していきたいと考えておりますので、これからも引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

土地改良区 会員情報

○今年度から三津ノ土地改良区が、和歌山県土地改良事業団体連合会の会員になりました。宜しく申し上げます。

○新しい土地改良区理事長を紹介します。

南紀用水土地改良区 萩野 幸一 (R4.1.20 就任)

山田ダム土地改良区 上山 信夫 (R4.3.17 就任)

紀の川用水土地改良区 森田 敏一 (R4.4.8 就任)

貴志川土地改良区 山本 崇吉 (R4.5.10 就任)

【編集後記】

令和3年度は、役員の手帳など悲しい出来事がありましたが、これを乗り越えるべく、新しい体制で令和4年度の事業執行に取り組んで参ります。

令和4年の田植えも間近になっております。未だ収束しない新型コロナの対策に十分留意され、土地改良施設管理の充実に取り組んで戴きますようお願い申し上げます。また、7月には第26回参議院議員選挙があります。土地改良を応援戴ける候補者の支援を賜りますよう、宜しくお願いいたします。